リアルタイムデジタルビデオレコーダー

NS-8040RⅡ
NS-8080RⅡ
NS-8160RⅡ

取扱説明書

このたびは本商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、『安全上のご注意』を必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
保証書は、『お買い上げ日・販売店』などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
安全に正しくご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書と取扱書を一緒にいつでも見られるところに保管し、必要なときにお読みください。
製品の定格及びデザインと仕様は改善等のため予告なく変更する場合があります。

■より安全にお使いいただくために

１．お使いいただく前に「本取扱説明書」を十分にお読み下さい。
２．「取扱説明書」は大切に保管して下さい。
３．機器を清掃する場合は、かならず前もってコンセントからプラグを抜いて下さい。
汚れたら液体洗剤やエアゾール洗剤は使用しないで乾いた布でふき取って下さい。
４．弊社製品以外の付属品は、火災・感電・けがの恐れがあるため使用しないで下さい。
５．機器を水の近くに（例えば：浴槽・洗面台・流し台・洗濯機・湿気の多い地下・プールなど）置いたり、そこで使用したりしないで下さい。
６．不安定なカート・スタンド・机の上に機器を置かないで下さい。
機器が落ちてケガをしたり、機器そのものに損傷をきたしたりすることがあります。
７．電源は日本国内の商用周波数ＡＣ100Ｖ±10%をご使用ください。
８．雷が発生している際や、長期間お使いにならない場合は、雷や送電線からのサージ（＝電流・電圧の瞬間的な過電流、過電圧）の侵入を避けるため、電源、映像線、その他の接続ケーブルを外して下さい。
９．コンセントや延長コードに過電流を流さないようにして下さい。火災や感電の恐れがあります。
10．機器ケースを開けて内部の基板に接触させないで下さい。危険な電圧個所に触れることで、部品がショートして火事や感電につながる恐れがあります。
11．機器をご自分で修理しないで下さい。修理・整備点検は専門のサービスマンに依頼願います。
12．通気口を異物でふさがないでください。温度上昇によって火事につながる恐れがあります。
13．次のような場合は速やかにプラグをコンセントから抜き、専門のサービスマンにご相談下さい。
A）電源コード及びプラグが損傷したとき。
B）機器の中に液体をこぼした場合また異物が中に入った場合。
C）機器が、雨や水に濡れた場合。
D）「取扱説明書」にしたがって作動させても正常に動作しない場合。不適切な調整は、機器に損傷を与えるばかりでなく、機器を正常動作に復元するために専門技術者による長時間にわたる作業が必要となる可能性があります。
E）機器を落としたり、カバーを損傷したりした場合。
F）機器の性能が著しく変化して、修理が必要になったとき。
14．部品交換が必要になった場合､弊社の指定部品または同等性能部品かどうかを確認してご使用下さい。指定外の部品をご使用になると火災や感電等の恐れがあります。
15．機器の修理や点検を受けたときは、専門のサービスマンに安全確認をしてもらい、適切な作動状態にあるか、正常な動作をしているかを確認してもらって下さい。
16．設置は専門のサービスマンに任せ、運用にあたっては法律条令を確認して下さい。
17．仕様書に明示されている動作温度環境内で運用して下さい。
18．ラック内等に設置すると、ラック内の温度は部屋の温度より高くなることがありますので、注意して下さい。
19．ラック内に設置する際は、安全に運用するため十分に空気の流れがあることが必要となります。
20．ラック内に設置した機器の上などに不必要に他の機器などを重ねて置いたりしないで下さい。
21．備え付け電源への機器の接続の際、過電流保護回路、すでに供給されている電気配線へ負荷を与えすぎないよう気を付けて下さい。不明な時は機器に表示されている電気容量を参考にしてください。
22．ラック内に設置された機器は適切にアースがなされていることを確認して下さい。分岐回路へ直接接続する場合（例：電源ストリップを使用する）を除いては、電源の接続は特にご注意下さい。

注意：
●本製品は、監視防犯をはじめさまざまな映像を録画する事を目的とした装置ですが、すべての映像を監視する事を保障したものではありません。
機器の不具合によって映像が録画されていない場合、弊社および販売店では責任は一切負いません。あらかじめご了承願います。
●本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用することもできますが、法的証拠として効力を保障するのもではありません。
●本製品で録画した映像は、場合によっては被撮影者のプライバシー権利を侵害する事があります。映像を活用する場合は注意してください。撮影した映像に関するプライバシートラブルなどに関しまして弊社は一切の責任を負いません。
●本製品の記録媒体に使用しておりますハードディスク（ＨＤＤ）は、振動、外的衝撃などの物理的耐久性、電源の入り切り、停電からの復旧による突入電流などによる電気的耐久性が低く、永久的に使用可能な媒体ではありません。作動時間が２万時間を超えた頃より書き込みエラーが発生しやすくなり、３万時間を超えると寿命に至ります。大切な録画データを破損、損失させないためにも機器周辺温度を 20℃以下に保ち、１８，０００時間を目安にＨＤＤを交換することをお勧めいたします。
●ＨＤＤの交換は、販売店もしくは弊社宛ご依頼願います。（有償となります）なお､ＨＤＤの交換や、機器修理の際、録画済みのＨＤＤのデータは消去させていただきますのであらかじめご了承願います。

■主な特徴

●ファンレスコンパクトサイズDVR
耐熱設計により冷却用ファンをなくすことで、ファン音になる居間等にも設置がしやすくなりました。
●960H解像度のフルフレーム(120fps)記録と1920×1080のHD出力を実現
52万画素カメラの録画に最適な960×480録画解像度と1920×1080HDMI出力端子付DVR
●動画圧縮方式にH.264採用
優れた伝送、圧縮効率をもつ最新の圧縮ソフトH.264を採用する事で、より長時間の記録保存が可能となりました。
●クワッドディプレックス
ライブ中はもちろんのこと、再生中の録画/ネットワーク監視も同時に行えます。
●ネットワーク機能(PCライブモニター/スマートフォンライブモニター、遠隔監視)
インターネットに接続することで、遠隔地のPC、さらにiPHONE、Androidなどのスマートフォンからも
ライブ映像のモニタリング、PTZカメラの遠隔制御、ズーム、及び過去の録画データのサーチ、再生が行えます。
(DynamicDNS対応)
●USBフラッシュメモリによる容易なバックアップ
市販のUSBフラッシュメモリを使用して証拠映像を容易にバックアップできます
　(ブックマーク機能により再生時においてバックアップ範囲が指定できます)
またネットワークに接続されていれば、CMSによって遠隔のPCからもバックアップが可能です。
●さまざまな録画及び再生モード(プレアラーム録画、パノラマ再生、Water-Mark機能)
スケジュール録画、アラーム録画、連続録画との併用も可能です。
　(モーション録画、アラーム録画はイベント発生の数秒前から録画を開始します)
　また、バックアップデータの改ざんを防止するためのWaterMark機能を搭載しています。
●リモコン、マウスによる容易な操作性(操作パネルをマスキング)
本体を手の届かないところに設置した場合リモコンで操作できます。
　(操作パネルをなくすことで、部外者による不正操作が防止できます)
●音声の記録
マイク付カメラの音声も4台同時に記録できます
●CMS(遠隔集中モニタリングシステム)
付属のクライアントソフトをPCにインストールすることで複数箇所の同一シリーズDVR及び
　HD-SDI DVR、HD-SDIハイブリッドDVRを最大64CHで一括モニタリングできます。
●スマート機能
HDDのクラッシュを防止するためHDDが設定温度以上になった場合に、モニターに警告表示及び
アラーム音で外部に知らせます。
●自動バックアップ機能
内蔵HDDに記録する録画データをファイル毎(5分間/1ファイル)にUSBフラッシュメモリ、
e-SATA HDDに自動的に書き込む事ができますので、録画データを媒体ごと取出して(リムーバブル)、
PCでも再生が可能となります。

目次

より安全にお使いいただくために ---- 2
主な特徴 ---- 3
目次 ---- 4

1. 製品概要 ---- 5
1.1 製品内容のチェック ---- 5

2. 各部名称 ---- 6
2.1 NS-8040RⅡ ---- 6
フロントパネル/バックパネル
2.2 NS-8080RⅡ/NS-8160RⅡ ---- 7
フロントパネル/バックパネル

3. DVRの制御 ---- 8
3.1 操作用リモコン-基本説明 ---- 8
3.2 シーケンスモード ---- 9
3.3 デジタルズーム ---- 9
3.4 マウス ---- 9
3.5 画面モードを変更する ---- 9

4. 操作方法 ---- 10
4.1 電源をオンにする ---- 10
4.2 初期画面 ---- 10
4.3 画面レイアウト ---- 10
4.3.1 ライブ表示時モードでのアイコン ---- 11
4.3.2 ボタンを使って再生する ---- 12

5. メニュー ---- 13
5.1 メニューの表示 ---- 13
5.2 セットアップ ---- 13
5.2.1 ディスプレイ ---- 14
5.2.1.1 OSD表示 ---- 14
5.2.1.2 画面切り替（フル画面） ---- 15
5.2.1.3 VGA解像度 ---- 15
5.2.2 カメラ ---- 15
5.2.2.1 プライバシーゾーン ---- 16
5.2.3 PTZ ---- 17
5.2.2.3 プリセット ---- 17
5.2.2.4 ツアーリング ---- 18
5.2.2.5 カラー ---- 19
5.2.2.6 POS ---- 19
5.2.3 録画 ---- 19
5.2.3.1 録画設定 ---- 20
5.2.3.2 スケジュール ---- 21
5.2.3.3 その他 ---- 22
5.2.4 イベント ---- 22
5.2.4.1 モーション ---- 23
5.2.4.2 センサー ---- 23
5.2.4.3 ビデオロス ---- 23
5.2.4.4 Eメール ---- 23
5.2.4.5 FTP ---- 24
5.2.4.6 Eメール/アラーム/FTP　スケジュール ---- 25
5.2.4.7 その他 ---- 25
5.2.5 HDD管理（ハードディスクの管理） ---- 26
5.2.5.1 HDDフォーマット ---- 26
5.2.5.2 HDDスマート ---- 27
5.2.5.3 HDD設定 ---- 28
5.2.6 ネットワーク ---- 28
5.2.6.1 設定 ---- 29
5.2.6.2 DDNS ---- 29
5.2.6.3 JPEG ---- 30
5.2.7 システム ---- 31
5.2.7.1 VIDEO TYPE ---- 31
5.2.7.2 Configファイル管理 ---- 31
（設定値のインポート/エクスポート）
5.2.7.3 時刻管理 ---- 32
5.2.7.4 システムID/ ---- 32
キーボード（入力機器）
5.2.7.5 使用者 ---- 33
5.2.7.6 アップグレード ---- 34
5.2.7.7 DVRの電源を切る ---- 35
（システム電源OFF）
5.3 検索（Search） ---- 36
5.3.1 時間検索 ---- 36
5.3.2 イベント検索 ---- 37
5.3.3 パノラマ ---- 37
5.3.4 BOOKMARK ---- 38
5.3.5 バックアップ ---- 38
5.3.6 SEARCH BY POS ---- 38
5.4 オーディオ ---- 39
5.5 バックアップ ---- 39
5.6 ログビュー ---- 40
5.7 録画 ---- 40
5.8 OSDをオフにする ---- 40
5.9 ログアウト ---- 41

6. 録画時間の目安 ---- 41
7. その他機能 ---- 42
7.1 PTZ ---- 42
8. トラブルシューティング ---- 43
保証書 ---- 44

1. 製品概要

1.1 製品の内容物のチェック

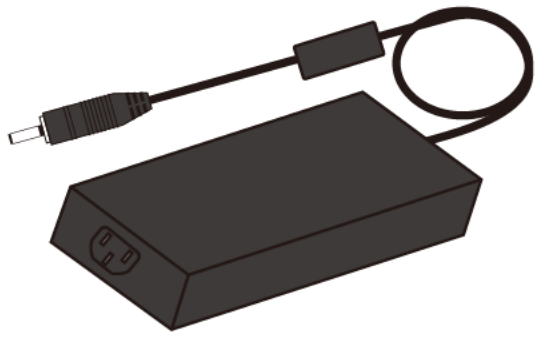
製品の箱を最初に開いた時は、次のすべての内容物があるかチェックしてください。

これらの内容物のいずれかが欠落または破損している場合、製品を使用する前に直ちに購入元にお問い合わせ下さい。

DVR

リモコンおよびバッテリー

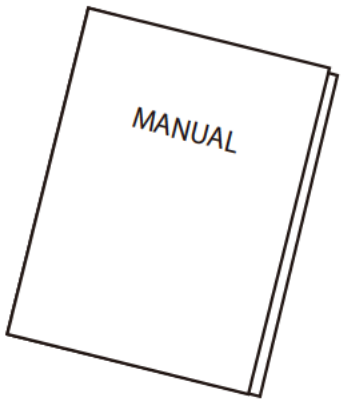
電源アダプター



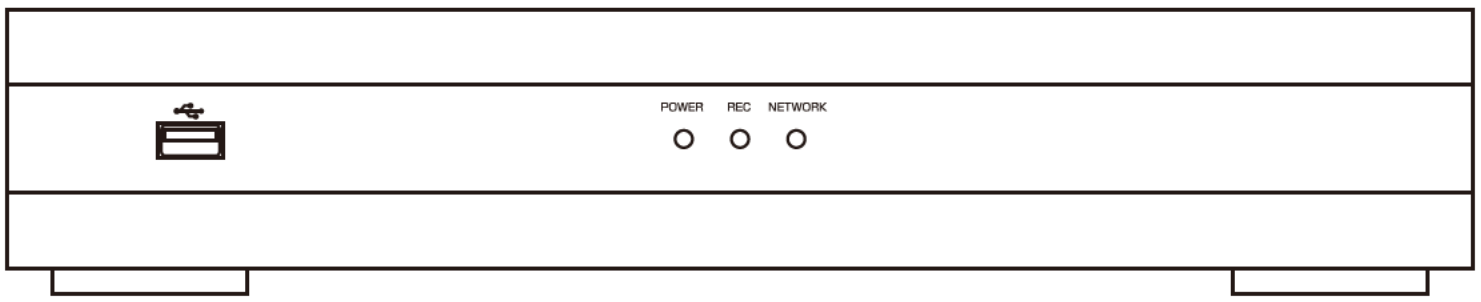
ソフトウェア / ユーザーマニュアル CD

電源ケーブル

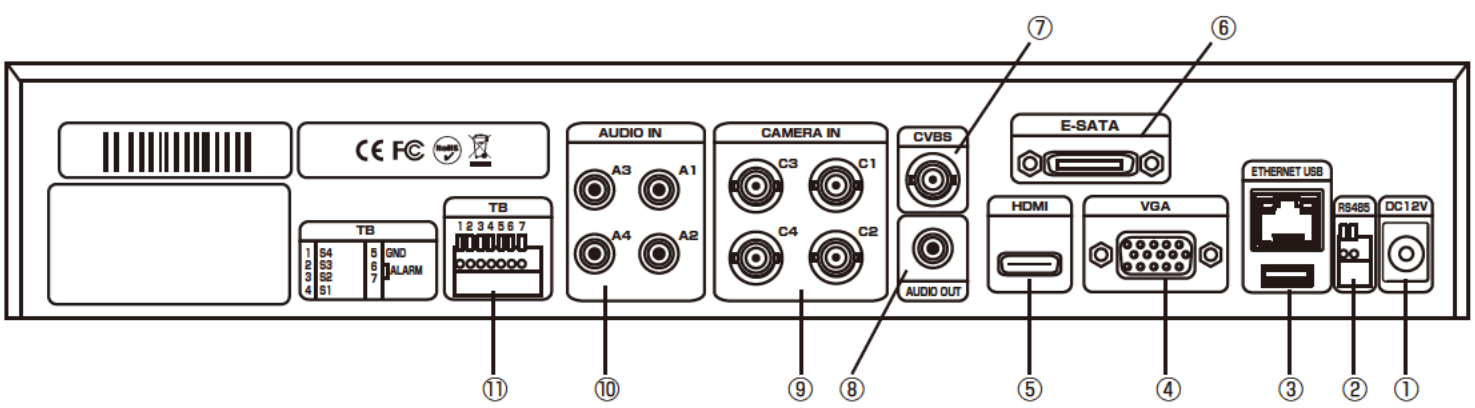
ユーザーマニュアル



1.2　NS-8040RⅡ　フロントパネル / バックパネル

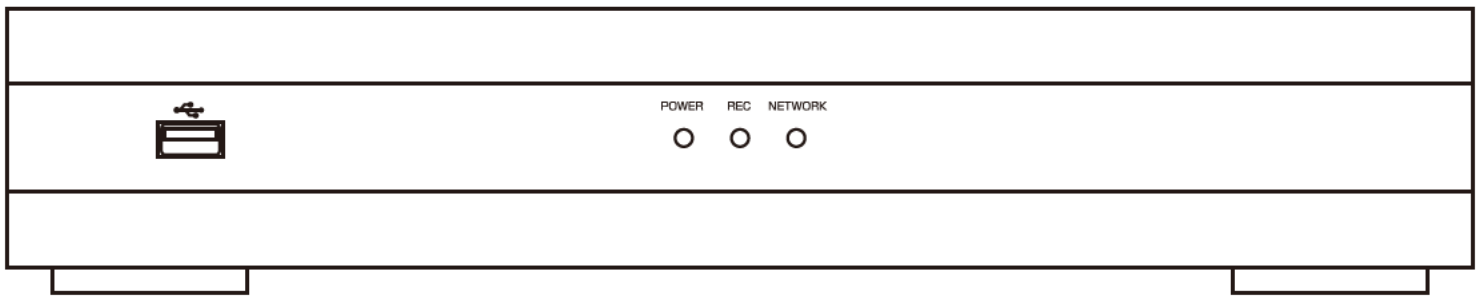


番号	名称	機能
①	USB ポート	USB デバイスを 2 つのポートへ接続

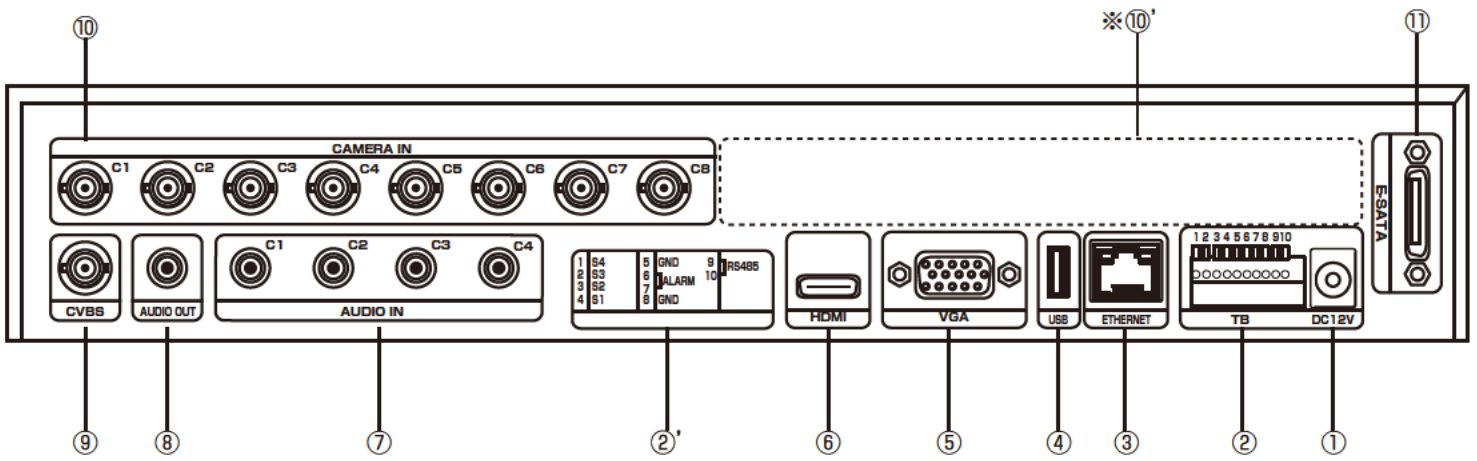


番号	名称	機能
①	DC 12V	電源アダプターの接続
②	RS485	RS-485 通信 (TRX+、TRX-)
③	イーサネット	10/100MB または 1GB LAN ポート
	USB ポート	USB デバイスを 1 つのポートへ接続
④	VGA	接続のポート
⑤	HDMI	接続のポート
⑥	E-SATA	E-SATA のポート
⑦	CVBS	映像をモニターに映すための端子
⑧	AUDIO OUT	音声出力装置の接続
⑨	CAMERA IN	カメラ映像を入力するための端子
⑩	AUDIO INCAMERA IN	音声入力装置の接続
⑪	TB	センサー類の入出力端子

1.3　NS-8080RⅡ/NS-8160RⅡ　フロントパネル / バックパネル



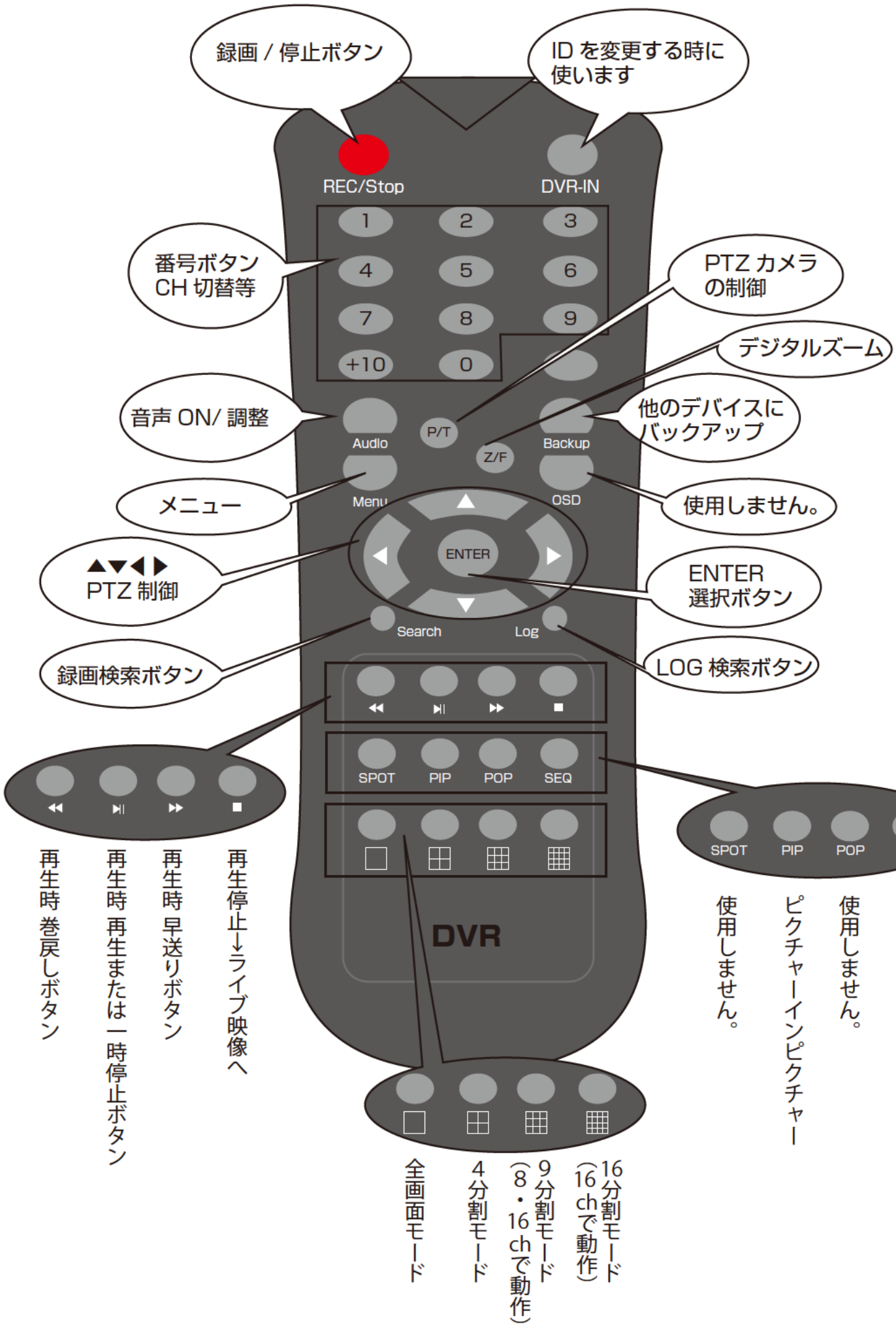
番号	名称	機能
①	USB ポート	USB デバイスを接続



番号	名称	機能
①	DC 12V	電源アダプターの接続
②②	RS485	RS-485 通信　TRX+（9 番）、TRX-（10 番）
	TB	センサー類の入出力端子（② ‘参照）
③	イーサネット	10/100MB または 1GB　LAN ポート
④	USB ポート	USB デバイスを接続
⑤	VGA	VGA 端子（Dsub-15Pin）ポートへ接続
⑥	HDMI	HDMI 端子ポートへ接続
⑦	AUDIO　IN	音声入力装置との接続
⑧	AUDIO OUT	音声出力装置との接続
⑨	CVBS	カメラ映像を映像モニター（RCA 端子）へ接続
⑩⑩'	CAMERA IN	カメラからの映像線を接続する端子 ※NS-8160Rでは、破線の部分に9-16CH用端子が設置されます。
⑪	E-SATA	E-SATA 端子と接続するポート

3.DVR の制御

3.1. 操作用リモコン - 基本説明

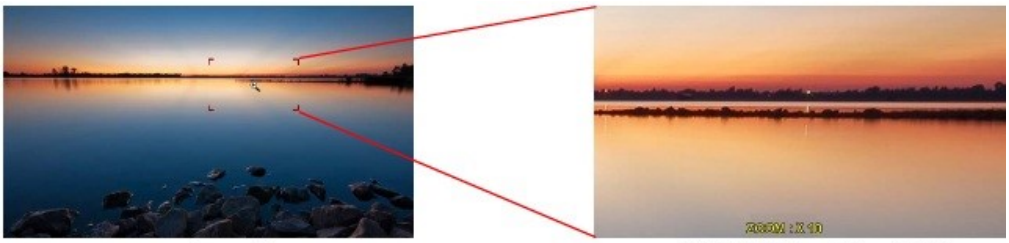


3.2. シーケンスモード

- フルスクリーンモードまたは四分割画面モードの場合はSEQボタンを押すと、画面は自動的に切り替わっていきます。
- チャンネルの変更間隔のデフォルト値（初期値）は2秒です。
- 0秒から99秒までの値へ変更間隔を選択することができます。
- 表示したいチャンネルを選択できます。

3.3. デジタルズーム

■DVRは10倍のデジタルズームをサポートしています。
■リモコンのズームボタンまたはズームアイコン　を選択してください。
■マウスを使用して、画像を拡大するために、特定のエリアをドラッグしてください。
■デジタルズームモードに無効にするには、マウスを右クリック、またはMENUボタンです。



ノーマルモード　　デジタルズームモードx10

3.4. マウス

■システムはUSBマウスをサポートしています。
■USBマウスをDVRに挿入するだけで、DVRが自動的に検出します。
■USBマウスが正しく動作しない場合は購入先にお問い合わせください。

3.5. 画面モードを変更する

ライブモードで右クリックすると、メインメニューを表示することができます。メニューの項目を選択するにはマウスを左クリックしてください。
●特定のチャネル上でダブルクリックすると、画面がフルスクリーンモードに変更します。
フルスクリーンモードでダブルクリックすると、画面が前のモードに戻ります。

4.操作方法

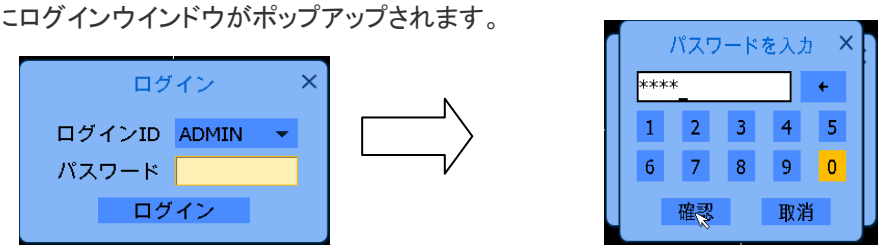
DVRをご使用になる前に、最初にHDDが取り付けられていることをご確認ください。

4.1. 電源をオンにする

■付属の電源アダプタを電源のDC端子に接続します。

4.2. 初期画面

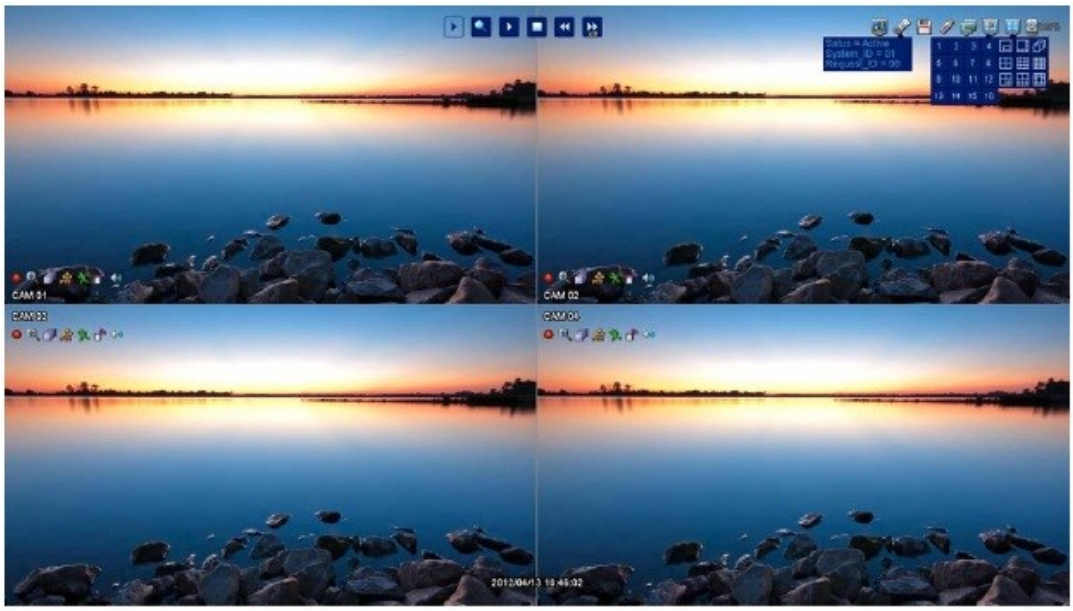
DVRの起動後にログインウインドウがポップアップされます。



マウスまたはリモコンのUPキー/DOWNキーでパスワードウインドウにポインタを移動させてください。
そしてリモコンのENTERキーを押すか、マウスの左ボタンを押してください。
パスワードを入力します。(最初にDVRを起動した場合、初期パスワードは "0000"(ゼロ4つ)です。)
最初のログイン後、パスワードを変更することをお勧めします。パスワードを変更するためには、
『5. 2. 7. 4. ユーザー管理』を参照してください。

4.3. 画面レイアウト

選択した機能に応じて以下の項目が表示されます。



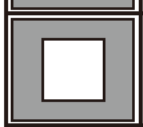
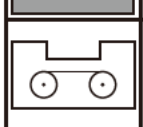
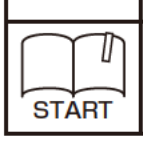
4.3.1. ライブ表示モードでのアイコン

ライブ表示モードでは、アイコンがシステムモードまたはステータスを通知するために表示されます。
以下は、アイコンのカテゴリです。これらはモニターに表示されます

システムアイコン		各チャンネル毎のアイコン	
	全画面にするには特定の CH を選択してください		モーションが検知された時
	画面分割モード		センサーが働いているとき
	HDD の使用状況		PTZ モードに入っています
	USB メモリと HDD が DVR に取り付けられている時		チャンネルが録画されています
	DVR がネットワーク接続されている時		REC ボタンによる強制録画
	リモコンのシステム ID		○○秒 / 分前を再生
	外部 USB、HDD(状態、容量) による自動バックアップの確認		全画面にするには特定の CH を選択してください
フルスクリーンモードでのアイコン			
	チャンネルのシーケンシャルモード		
	デジタルズーム		

4.3.2. ボタンを使って再生する

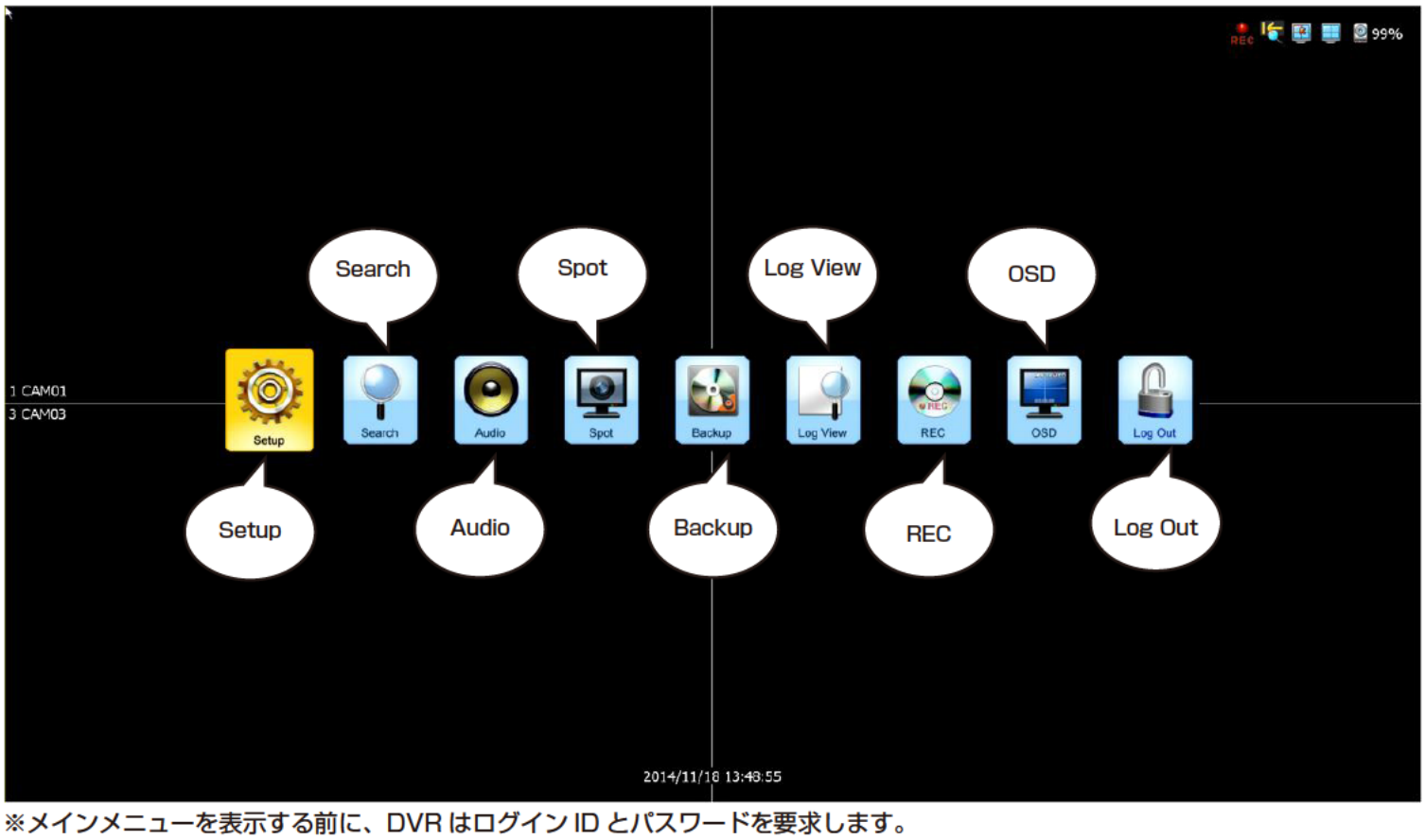
検索モードでは、様々なアイコンが画面の上側に表示されます。そして、ボタンを使って再生することができます。（リモコンの Seach ボタン， 本体の Seach ボタン、マウスの右クリック）

	デジタルズーム	再生中の CH フルスクリーンモード時に、このアイコンが表示され使用できます。
	現在の状態表示	このアイコンは、再生中における現在の状態を表示します。 を選択すれば にマークが変更します。 このマークは別のボタンを選択すると変わります。 例）早送り を選択すると、 が表示されます。
	検索	このボタンをクリックすると、検索のサブメニューがポップアップします。
	巻戻し	巻戻しと速度 (×2、×4、×8、×32、×128) を選択してください。 一時停止の状態では、このボタンを押すとフレーム毎に巻き戻します。
	再生	再生ボタン　一時停止モードでこのボタンを選択してください。
	一時停止	一時停止ボタン　再生、巻戻し、早送りモードでこのボタンを選択してください。
	停止	再生を終了し、ライブ映像に変更します。 メニューボタンでも再生を停止できます。
	早送り	早送りと速度 (×2、×4、×8、×32、×128) を選択してください。 一時停止の状態では、このボタンを押すとフレーム毎に早送りします。
	バックアップ	バックアップ画面になります。
	BOOK MARK	BOOK MARK へ登録ができます。

5. メニュー

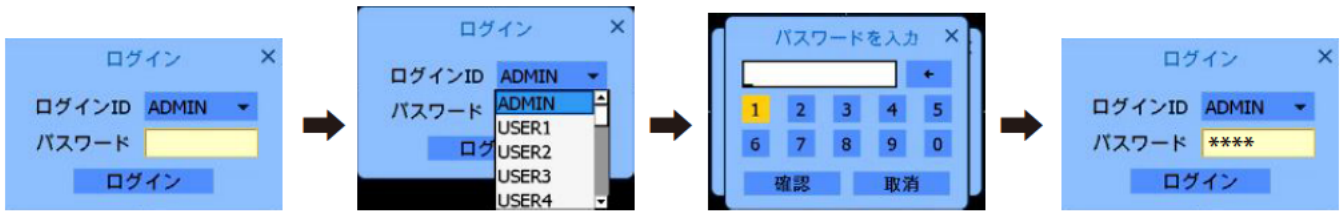
5.1. メニューの表示

DVR の前面にあるメニューボタン、リモコンのメニューボタンまたはマウスの右クリックを使用してメニューを表示してください。



※メインメニューを表示する前に、DVR はログイン ID とパスワードを要求します。

初めて DVR を起動した時は、ログイン ID として ADMIN、パスワード“０００００“を入力してください。



5.2. セットアップ

ディスプレイ、カメラ、録画、イベント、ストレージ、ネットワーク、システムに関する設定項目は
セットアップメニューで設定することができます。

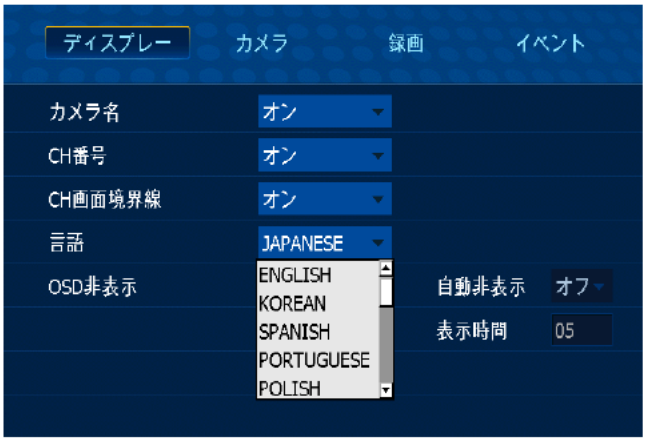
ディスプレイ	カメラ	録画	イベント	HDD 管理	システム
OSD 表示 画面切替 (フル画面) VGA 解像度	基本設定 プライバシー ゾーン PTZ プリセット ツアーリング カラー POS	録画設定 スケジュール その他	モーション センサー ビデオロス E- メール FTP E- メール スケジュール アラーム スケジュール FTP スケジュール その他	HDD フォーマット HDD スマート 自動設定 **ネットワーク** 設定 DDNS JPEG	VIDEO TYPE ファイル管理 時刻管理 システム ID/ キーボード 使用者 アップグレード システム電源 OFF

5.2.1. ディスプレイ

OSD表示メニューでOSDに関連した構成を行うことができます。
画面切替(フル画面)メニューでメインおよびスポットモニターのシーケンスパターンを設定することができます。

5.2.1.1. OSD表示

モニターに表示するOSDの項目を「ON/OFF」選択します。また表示言語を選択します。



■**カメラ名** – 画面にカメラ名を表示します。文字入力画面(仮想キーボードが表示されますので、使用してください。(後述参照)
■**CH番号** – 画面にカメラ番号を表示します。
■**CH画面の境界線** – チャンネルの境界を表示します。
■**言語** – OSDの言語を選択します。「JAPANESE」を選択してください。
■**OSD非表示** – オプション:『全体』、『タイムバー』、『アイコン』(メニューのOSDのみ、リモコンのOSDは使用できません。)
■**自動非表示** – タイムアウト(分)後に自動的に『タイムバー』、『アイコン』を非表示にします。
■**表示時間** – タイムアウトまでの時間を(分)の数値を設定します。

5.2.1.2.画面切替(フル画面)

全画面表示時の設定を行います。

■**ライブ画面切替**:シーケンスチャネルとビデオ出力時間(秒単位)を設定します。

■**スポット画面切替**:シーケンスチャネルとスポット出力時間(秒単位)を設定します。

※最大時間は99秒です(0秒にすると画面を飛ばします)

※**初期値と全体適用は使用しません。**

5.2.1.3. VGA解像度

■1920×1080、もしくは1024×768を選択します。

5.2. 2. カメラ

カメラの名前、カラー、音声、カメラ映像表示の有無のような一般的なカメラの設定を行うことができます。
特定のカメラのプライバシーゾーンを指定することができます。
PTZの設定(プリセット・ツアー)を行うことができます。

■**名前**:仮想キーボードを使用して各カメラの名前を入力してください。英字で最大15桁を使用することができます。

◆仮想キーボードの使い方

〇テキスト入力ボックスでの文字または数字の入力方法
①名前ボックス(ブランク)にポインタを移動しクリックしてください。
②方向ボタンで文字または数字をクリックします。
③入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックします。

■**映像表示有無**：ライブモードでカメラのイメージを表示または非表示にします(ON：非表示、OFF：表示)

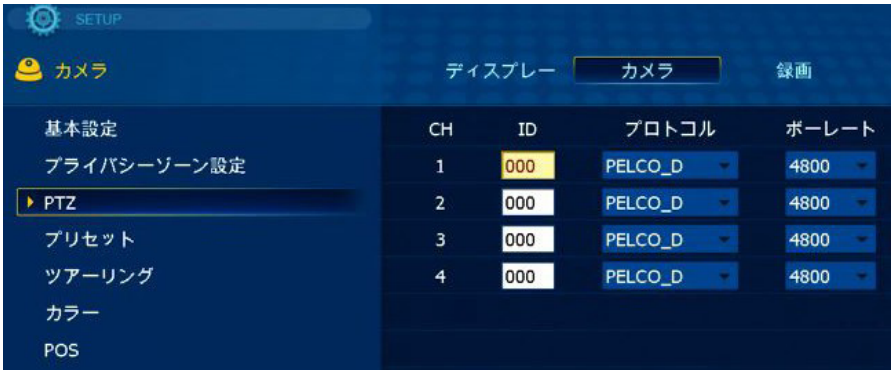
■**音声**：接続された音声チャンネルを選択してください。

5.2.2.1. プライバシーゾーン

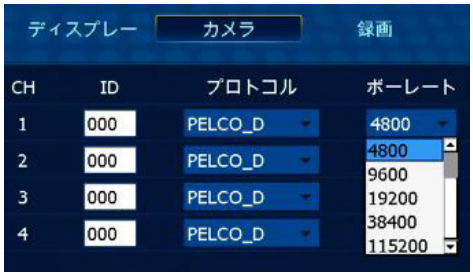
プライバシーゾーンはカメラビデオ上にモザイクで表示されます。プライバシーゾーンは再生中もモザイクで表示されます。

■プライバシーゾーンを設定したいチャンネルを選択してください。
■プライバシーのためのスポット(64分割)を選択してください。

5.2.2.2. PTZ



■**ID**：PTZカメラのIDを入力してください。
■**プロトコル**　：PTZカメラのプロトコルを選択してください。
■**ボーレート**：PTZカメラのボーレートを選択してください。



※この情報はPTZ カメラのマニュアルをご覧ください。(6-1参照)

5.2.2.3. プリセット

■**カメラ**：プリセットポジションをセットアップするカメラを選択してください。
■**ページ**：次のページを表示します。
■**リセット**：保存されたプリセットをすべてキャンセルします。
① カメラを選択します。
② "指定"ボタンを選択します。
③カメラのPTZ制御画面が表示されます。
　希望するポイントにパン、チルト、ズームイン/アウトを行います。
④画面右下の指定をクリックするか、リモコンのENTERキーを押して保存してください。

⑤キャンセルするにはマウスで画面上の任意の他の位置をクリックするか、MENUキーを押してください。
　設定をキャンセルしたい場合は削去するチャンネルの削除アイコンをクリックしてください。
"すべてリセット"ボタンをクリックすると、全てのチャンネル値がクリアされます。

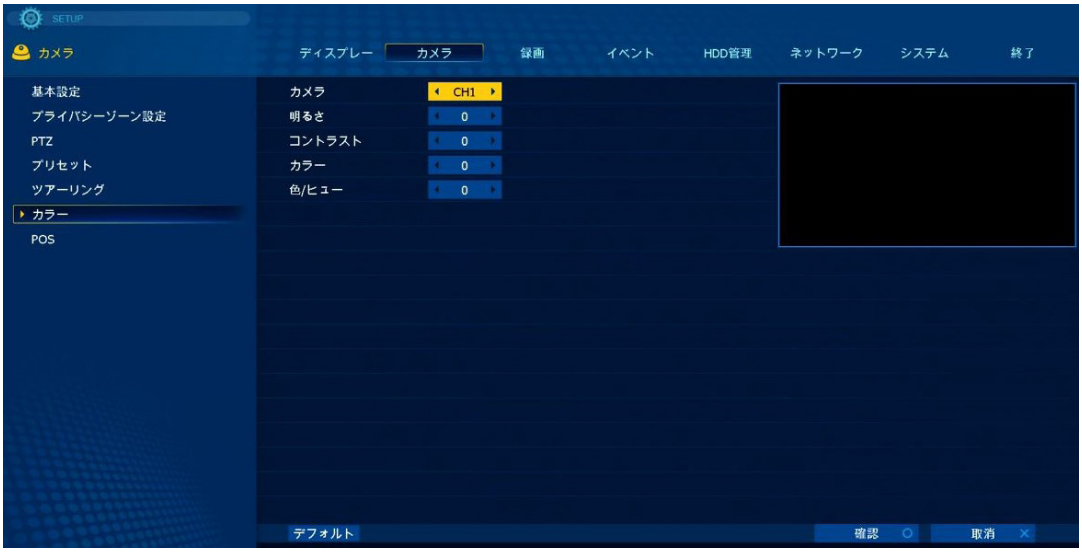
◆注 :この機能を使用する前に、カメラがプリセットをサポートしていることを確認してください。
合計64個のプリセットポイントを、各チャンネルに保存することができます。
保存された各プリセットポジションにポジション名を入力することができます。

5.2.2.4. ツアーリング

■**カメラ**：スキャンポイントを設定するカメラを選択してください。
■**リスト**：別のスキャンリストを作成
■**プリセット**：希望するプリセットポジションを選択
■すべてクリア：保存されているすべてのスキャンポイントのキャンセル
◆注：スキャンポイントメニューで、保存したプリセットポジションを使用してPTZツアールート（スキャンリスト）を設定することができます。各カメラにつき4つのスキャンリストを作成できます。スキャンリストを設定する前に、PTZプロトコルとプリセットを設定する必要があります。
最大4スキャンリストが設定でき、1スキャンリストは、16プリセットポイントまで構成することができます
例)スキャンポイントが左のように設定されている場合
■　カメラ1 は、以下のように保存位置に移動します
■　PTZ04（3秒留まる)>> PTZ123（秒留まる）>>
　　PTZ04（3秒留まる)>> PTZ123（秒留まる）>>
　　PTZ04（3秒留まる)>>.....

5.2.2.5. カラー

色合い等を調整します。



5.2.2.6. POS

■使用しません。

5.2.3. 録画

録画設定、スケジュール、プリレコーディング、ポストレコーディングの設定は、録画メニューで行うことができます。

5.2.3.1. 録画設定

■**解像度**: 記録される画素数(画像のサイズ)
接続されたカメラの解像度を自動的に記載します。

■**イベント録画速度**– イベント発生時の録画の画質およびフレームレートを選択します。
– イベント発生時とは、モーションが検出された場合やアラームが発生したことを意味します。
– 各チャンネルには個別に画質とフレームレートを設定することができます。

■ **連続録画速度**
– 連続記録時の録画の画質およびフレームレートを選択します。
– 各チャンネルには個別に画質とフレームレートを設定することができます。
– 連続録画のフレームレートはイベントモードのフレームレートを超えることはできません。
イベントのフレームレートを8として設定した場合、連続録画モードのフレームレートは、8を超えることはできません。

■ **全体**
すべてのチャンネルに同じ画質とフレームレートを適用します。

5.2.3.2. スケジュール

DVRはスケジュールに応じて録画します。録画スケジュールを設定することを確認してください。

■ **録画中止**: 録画しません、選択された時間内モニターします。

■ **連続録画**: DVRは選択された時間内連続して録画します。

■ **イベント録画**: DVRはモーション/センサー/ビデオロス(イベントにて設定)が、選択した時間の間に発生した場合に録画します。

■ **連続録画+イベント録画**: DVRは連続録画またはイベント録画を選択された時間内におこないます。

イベントがない場合は、連続モードでビデオを録画します。

イベントがある場合は、設定したイベントモードでビデオを録画します。

マウスを使用している場合は、ドラッグにより選択することができます。

◆注:録画スケジュールは時間単位で設定することができます。

各行の最初の列の時刻は 00:00～00:59 を意味します。

5.2.3.3. その他

■**上書き**:

HDDがいっぱいになると最も古い録画データが消去され新しいデータ(上書き)に置き換えられます。

※「ON」上書きします/「OFF」上書きしません

※OFFに設定されている場合はHDDがいっぱいになったとき、DVRは録画を停止します。

■**保存期間**:現在時刻より前の選択された日数のデータのみを保存します。

デフォルト値"00"により、この機能は無効に設定されています。

■**プレレコーディング 前 録画時間**:イベントが発生した時間の前から録画する時間(0～5秒)

■**ポストレコーディング 後 録画時間**:エベントが発生した後の録画する時間(0～120秒)

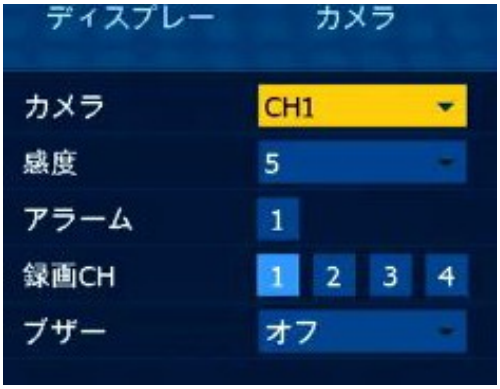
■**ウォーターマーク**:録画データにウォーターマークを組み込みます。これはバックアップビューアソフトで確認できます。

5.2.4. イベント

イベントに関する構成を行うことができます。

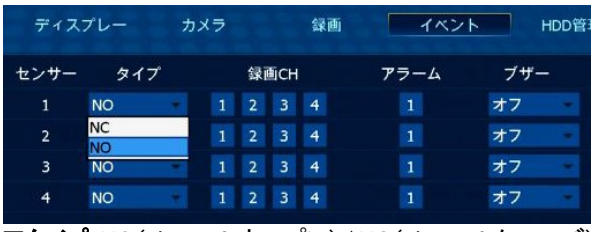
5.2.4.1. モーション

動体検知録画の検知感度について設定します。



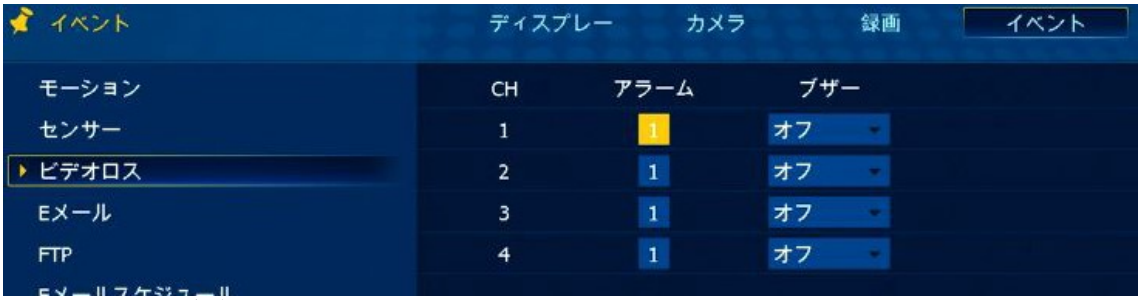
■**カメラ**:モーション設定をするカメラを選択します。
■**感度**:モーションの感度の調整(0～9)から設定します。数値が高いほどより高感度な検出となります。
■**アラーム**:モーションが検出されたときに発せられるアラーム出力の番号を選択します。
■**録画チャンネル**:モーションが検出されたときに録画するチャンネルを選択します。
■**ブザー**:モーションが検出されたときのブザーの「ON / OFF」を設定します。
※ブザー機能をONにするためには、アラーム出力の設定が必要になります。
■**夜間モード**:昼間と夜間で別の感度を設定してください。このオプションは、夜間のカメラのノイズによる誤ったモーションイベントを回避するために使用することができます。
■**全体指定**:すべての領域(8x8グリッド)がモーション検出有効になります。
■**全体クリア**:すべての領域(8x8のグリッド)がモーション検出無効になります。

5.2.4.2. センサー



■**タイプ**:NO(ノーマルオープン)/ NC(ノーマルクローズ)を選択します。
■**録画CH**:センサーが働いたときに録画されるカメラのチャンネルを選択します。
■**アラーム出力**:センサーが働いたときにアラーム出力をする場合選択します。
■**ブザー**:センサーが働いたときのブザーのON / OFFを設定します。
■**全体**:すべてのセンサーに同じ設定を適用します。

5.2.4.3. ビデオロス



■**アラーム出力**:ビデオロスが発生したときにアラーム出力をするか選択します。
■**ブザー**:ビデオロスが発生したときのブザーのON / OFFを設定します。
■**全体**:すべてのチャンネルに同じ設定を適用します。

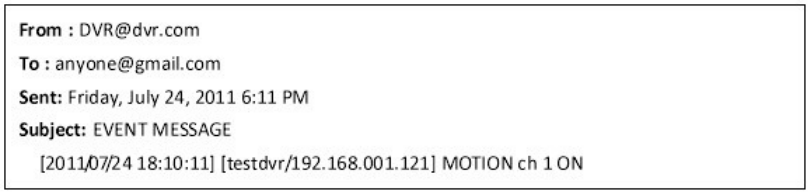
5.2.4.4. Eメール

DVRはイベントが発生した時にEメールを送信することができます。

■**Eメール発送**:メール通知のために『常時』または『スケジュール』を選択します。
■**IMAGE**:イベントが発生したときに画像とテキストを送信する場合は、チェックボックスをオンにしてください。
■**イベントの種類**:モーション、電源ON、センサー、HDDエラー、ビデオロスからイベントタイプを選択します。
■**送信ID**:DVRは、この名前でEメールを送信します。

■**Eメールアドレス**:3つまでEメールアドレスを入力できます。 例:anyone@gmail.com
■**セキュアタイプ**:ポートについて設定します。
–通常:標準のメール転送、ポート25–SSL(485)
–セキュアな電子メール転送、ポート485–TLS(587)
–セキュアな電子メール転送、ポート587
■**サーバー名**:SSLまたはTLSを使用する場合にはSMTPサーバー名を入力してください。
■**ID/パスワード**:SSLまたはTLSを使用する場合には送信メールアドレスのSMTPサーバーの ID/パスワードを入力してください。
◆ **注:通常SMTPサーバーの情報は、POP3/SMTP、IMAP/SMTPの設定メニューで確認することができます。確認できない場合は、サーバー管理者に問い合わせる必要があります。**
例: Gmailにアカウントをお持ちの場合には、サーバ名に smtp.gmail.com と入力し、GmailのIDおよびパスワードを入力してください。『通常』が設定されている場合には、サーバー名とID/パスワードを入力する必要はありません。

例:Eメールメッセージ



5.2.4.5. FTP

DVRはイベントが発生したときテキストと画像を指定のFTPサーバに送信することができます。

■**FTP**:『オフ』、『TEXT』または『TEXT+IMAGE』を選択してください。
■**イベントの種類**:FTPに送信するイベントタイプを選択してください。
■**FTP**:FTPサーバのIPアドレスまたはドメイン名を入力してください。
■**アカウントID**:FTPサーバーにアクセスするためのIDを入力してください。
■**アカウントPW**:FTPサーバにアクセスするためのパスワードを入力してください。
■**ディレクトリ名**:転送されたテキストまたは画像を保存するFTPサーバのディレクトリ
■**ポート番号**:FTP転送を使用するポート番号を入力してください。通常はポート21を使用しています。

5.2.4.6. Eメール/アラーム/FTP　スケジュール

イベントのEメール転送、アラーム出力、FTP転送のスケジュールを作成することができます。
スケジュールは日単位、時間単位で設定することができます。
曜日と時刻をチェックした期間だけEメールが送信され、アラーム出力が働き、FTP転送が動作します。

■**Eメールスケジュール**：曜日と時間を選択してください。（マウスのドラッグ/ドロップ可）
■**アラーム出力スケジュール**：曜日と時間を選択してください。（マウスのドラッグ/ドロップ可）
■**FTPスケジュール**：曜日と時間を選択してください。（マウスのドラッグ/ドロップ可）

5.2.4.7. その他

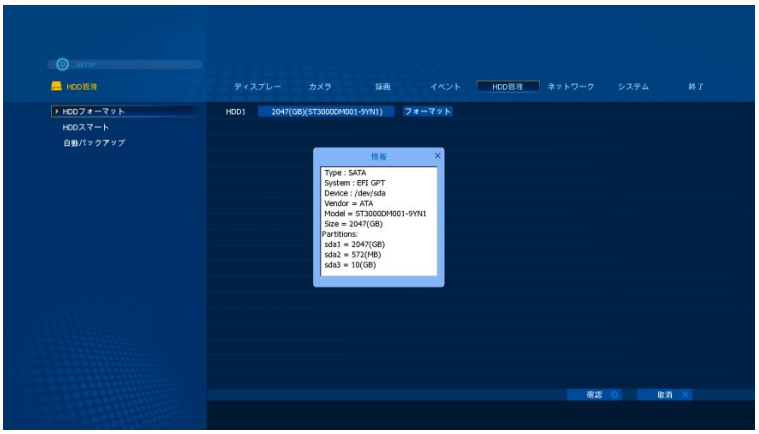
■**イベント持続時間**：アラーム出力の継続時間　※9999を入力すると連続になります。
■**ALARM OUT(NO、NC)**：アラームが連続出力の場合ALARM OFFを押すと出力が停止します。
■**イベントポップアップ**：イベントが発生したチャンネルがフルスクリーンモードでポップアップします。
■**ポップアップ出力**：ポップアップ表示について設定します。
　メイン：メインモニタにポップアップ表示スポット：スポットモニタにポップアップ表示
■**ポップアップ切替時間**：ポップアップ表示が継続する時間(1～60)
◆**注：イベントは別のイベントの継続時間の間に発生した場合、継続時間は無視され新しいイベントがポップアップ表示されます**

5.2.5. HDD管理（ハードディスクの管理）

機器に接続されている記録媒体（HDD、DVDドライブなど）について設定します。また、記録媒体の初期化、録画データの保存形式などについて設定します。

5.2.5.1. HDDフォーマット

HDDを取り付けた時は、正確に録画するためにHDDをフォーマットする必要があります。



■フォーマット手順

①フォーマットするHDDを選択し、『フォーマット』ボタンをクリックしてください。

②フォーマットが完了すると、DVRは自動的に再起動します。

③フォーマットにかかる時間はHDDのサイズにより異なります。

※通常、フォーマット完了までに数分かかります。

■内容確認：現在のハードディスク内の録画内容を確認できます。
使用中のデータ量や1ファイル毎のデータ量などが表示されます。

5.2.5.2. HDDスマート

DVRではHDDの温度をチェックすることができます。温度が一定以上に到達した場合、DVRは温度上昇をユーザーに通知することができます。

■スマート：機能を有効にする場合は「ON」を選択してください。
■**警告温度**：HDDの温度の限界を設定します。この温度を超えたスマート情報が確認された場合に通知します。
■**検査周期**：HDDの温度をチェックする間隔を設定します。
※オプション：10分毎、1時間、1日
■**検査時刻**
検査サイクルに"1日"を選択した場合に、HDDの温度をチェックする時間を設定してください。
■**アラーム出力**
HDDの温度が設定した温度しきい値を超えときにアラーム出力をする場合選択してください。
■**ブザー**：HDDの温度が設定した温度しきい値を超えときのブザー音のON/OFFを選択してください。

5.2.5.3. HDD設定

HDDのバックアップ操作について設定できます。

手動バックアップ：任意でバックアップ操作します。

■データ延長保存：内蔵HDDが100%になった時に、USB接続されたHDDへ保存します。

■自動バックアップ：USB接続されたHDDに自動的にバックアップを行います。

■SATA HDD(HDD1)と並行して内蔵されているSATA接続のHDD(HDD2)へ録画と同時にバックアップを行います。

5.2.6. ネットワーク

ネットワークによる遠隔監視や、LAN内接続について設定します。

5.2.6.1. 設定

IPアドレス、ポートについて設定します。

■**タイプ**：STATIC、DHCP、ADSL（PPPOE）からネットワークのタイプを選択してください。
■**DHCP**：DVRは自動的にIPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを取得します。
■**STATIC**：お使いのネットワーク環境をチェックしてIPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを手動で入力してください。**こちらの設定の使用を推奨します。**
■**ADSL**：PPPOE IDとパスワードを入力してください。この情報を取得するためには、ISPプロバイダにお問い合わせください。
■**モバイルポート**：JPEG転送に使用されるポートスマートフォンのアプリケーションは、このポートを使用します。
■**クライアントポート**：CMSが使用するポート
■**ウェブポート**：Webビューアが使用するポート
■**バンド幅**：ネットワークに適した速度を選択してください
■**UPNP**：ユニバーサルプラグ＆プレイ。ルーターでポートフォワーディングを必要としない場合にはチェックボックスをオンにします
■**UPNPSTATUS**：UPNPを使用する場合チェックすると、状態が表示されます。
◆ルーター自体がUPNP機能をサポートする必要があります

5.2.6.2. DDNS

DVRは、DDNS接続のためにDDNSCCTV.COM、DYNDNS.COM、NO-IP.COMをサポートしています。
他がパブリックなDDNSサーバーであるため、DVRメーカーによって直接運営されている
DDNSCCTV.COM(AUTO)の利用をお勧めします。

■**サーバー** DDNSサーバーを選択してくだし。本機器は「DDNSCCTV.COM(AUTO）」の使用を推奨します。
以下①-③は他のDDNSサーバーを使用する場合に選択しますが、「DDNSCCTV.COM(AUTO）」を使用する場合には入力しません。

①**ユーザーID** :DDNSサーバのアカウントIDを入力してください。
②**パスワード**:DDNSサーバのアカウントのパスワードを入力してください。
③**ホスト名** :DDNSサーバで作成したドメイン（ホスト）名 を入力してください。
注 :DDNS機能を使用するには、まず、www.ddnsccty.com 、www.dyndns.com 、 www.no-ip.com の いずれかにPCでアクセスし、アカウントを作成して、ドメイン（ホスト）名を作る必要があります。
注 :DDNS接続に失敗した場合は、すべての情報が正しく入力されているかどうか確認してください。 特にユーザーIDとパスワードを確認してください。次にネットワーク環境を確認してください。 (ネットワーク説明書を参照)

■**接続** :DDNSサーバーへの接続を確認するにはこのボタンをクリックしてください。
接続がOKであれば、「DDNS　OK」 のステータス情報が表示されます。

5.2.6.3. JPEG

デュアルストリームが有効な場合は、DVRは、解像度、画質、フレームレートの異なる
ネットワークストリームを送信します。
デュアルストリームがOFFに設定されている場合は、DVRは、録画パラメーターで設定された、解像度、
画質、フレームレートによりストリーム送信します。

5.2.7. システム

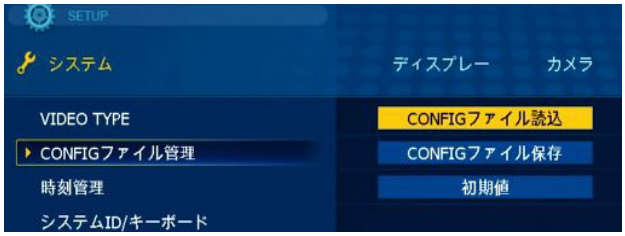
『時間』、『ユーザー』等の設定を行うことができます。
ソフトウェアのバージョンを確認することができ、アップグレードを行うことができます。

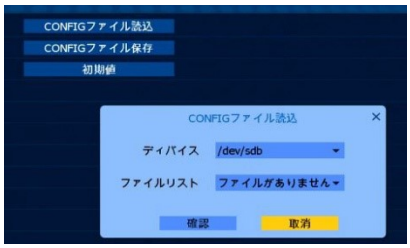
5.2.7.1. VIDEO TYPE

NTSCで使用します。設定しません。映像が流れるなどのトラブルが発生した場合は、この部分が「PAL」になっていないか確認してください。「NTSC」に戻すことで正常に戻ります。

5.2.7.2. Configファイル管理（設定値のインポート/エクスポート）

DVRのシステムの設定値は、他にコピーすることができます。
Configファイル読み込み（設定値をインポート）する時、あるいはConfigファイルの保存（設定値をエクスポート）するには、DVRのUSBポートにUSBデバイスを挿入してください。
構成のインポートおよびエクスポートによって同じ設定値を持つ複数のDVRを作ることができます。





■**Configファイル読込み**：USBデバイスから保存された設定値を取り込み（ロード）します。
■**Configファイル保存**：別のDVRに設定値をコピーするためにUSBデバイスに設定を保存します。
■**初期値**：工場出荷時のデフォルト値にすべての設定値を戻します。

5.2.7.3. 時刻管理

■**日付の表示形式**:日付の表示形式を選択してください。※年/月/日、月/日/年、日/月/年より選択します。
■**時刻の表示タイプ**:「24時間表示」、または「AM/PM表示」を選択します。
■**タイムゾーン**:地域のタイムゾーンを選択してください。
■**時刻の同期**:オンの場合は、システム時刻が選択されたタイムサーバと同期するようになります。
■**サーバーのIP**:タイムサーバーのIPアドレスまたはドメイン名を入力してください。
タイムサーバとの接続がOKであるかどうか確認するには『テスト』をクリックしてください。
DVRは1時間毎にタイムサーバにアクセスし正しい時刻をチェックします。
◆例: ntp.nict.jp
※ネットワーク接続されていない場合は、タイムサーバー同期機能は有効となりません。
■**時刻の変更**:手動で時刻を変更します。

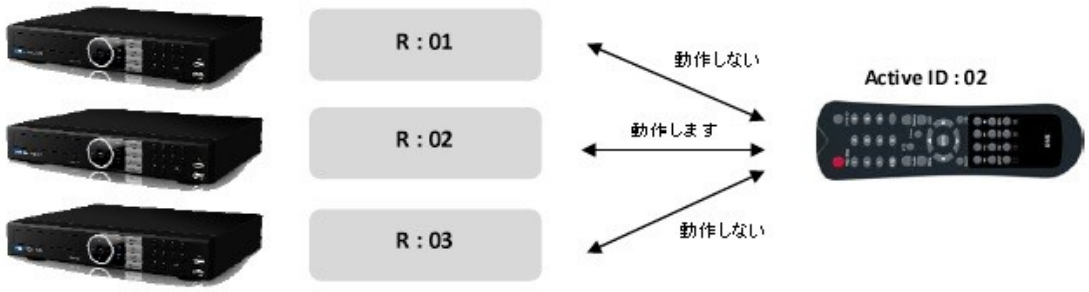
①画面下部のボタン「時刻変更」を、カーソルを移動させて選択します。
②画面中心に数字入力画面が表示されますので、現在の時刻を入力します。
数字は、リモコンのボタンも対応します(マウスの場合は入力画面の
数字をクリックします。
③数字を入力し、入力画面の「確認」を選択します。次に「～変更しますか？」と聞かれますので、再び「確認」を選択します。成功すると「時刻が変更されました」と表示され、入力した時刻が反映されます。

5.2.7.4. システムID/キーボード(入力機器)

入力/操作機器について設定します。

■**システムID**:DVRに登録したい番号を入力してください。
■**キーボード**:DVRに制御用キーボードを接続することができます。
■**キートーン**:ONに設定されている場合はボタンが押されるたびにビープ音が鳴ります。
◆システムIDのセットアップの方法

■システム-IDは、システムがリモコンのキーを受け付けるかどうかを示します。
■システム-IDは、ユーザーが1台のリモコンで複数のシステムを操作する時に使用されます。
システム-IDは、システム-IDが0（ゼロ）以外である場合に表示されます。
■リモコンのDVR-IDボタンを使用して、リモコンをシステム-IDと一致させることができます。システム-IDが00の場合、システム-IDは表示されず、システムはリモコンからキーを受け付けます。
■システム-IDの色が白色の場合、システムはリモコンのキー入力を受け付けます。
■システム-IDとリモコンのID(Active-ID)が一致していない場合、システム-IDの色が赤になり、システムはリモコンのキー入力を受け付けません。（ビープ音は鳴りません）
■リモコンでシステム-IDと一致させる方法
①リモコンのDVR-IDボタンを押します。（短いビープ音が2回鳴ります。）
②次に、希望するシステム-IDを2個の数字ボタン（例:02または03または01）を使用して入力します。



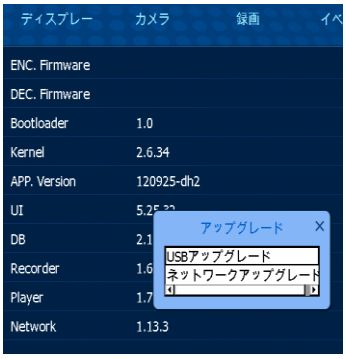
5.2.7.5.使用者

2つの固定ユーザー ADMIN、NETUSER があります。これらの名前とアクセス権限を変更することはできません。さらに20ユーザーまで作成し、各ユーザーに異なるアクセス権限を与えることができます。

■**使用者**:2つの変更できないユーザーID(ADMIN、NETUSER)があります。新しいユーザーを作成または既存のユーザーの設定を変更するには、矢印ボタンをクリックします。使用者名ご希望の名前を入力して作成します。
■**パスワード**:各ユーザの初期パスワードは「0000」に設定されています。新しいユーザーを作成するときは、新しいパスワードを入力する必要があります。新たに入力されたパスワードを忘れないようにしてください。最大数の8桁までの数字(例:123456)をパスワードに使用することができます
■**設定権限** – ユーザーにセットアップメニューに入ることを許可する場合はこのボックスをチェックしてください。
■**DVR操作権限** – DVRの機能である録画、再生(検索)、バックアップおよびPTZ制御の権限を各ユーザーに与える場合には各項目を選択してください。
■**ネットワーク** – ユーザーにネットワーク(Web、CMSまたはモバイル)を介してDVRにアクセスする権限を与える場合には、このボックスをチェックしてください。
■**画面表示制限** – 各ユーザーによる秘密チャネルを選択します。そのユーザーはマークされたチャンネルを見ることができます。(モニターをオンにした場合に有効)

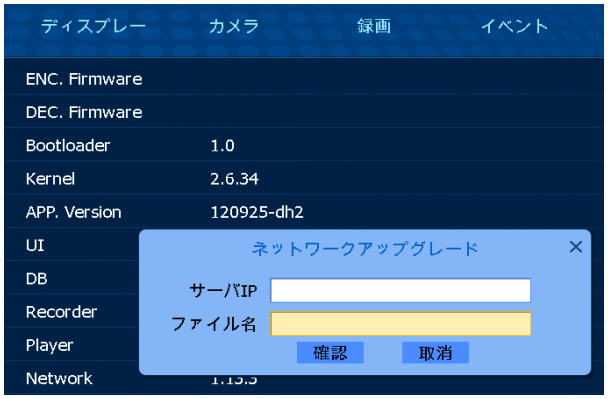
5.2.7.6. アップグレード

ソフトウェアのバージョン情報を確認することができます。そしてファームウェアをアップグレードすることができます。



■**USBアップグレード**:USBデバイスを使用してアップグレードを行います。
■**ネットワークアップグレード**:ネットワーク経由でアップグレードを行います。
◆**USBアップグレード**:アップグレードウィンドウで「USBアップグレード」を選択してください。
①USBメモリスティックに提供されたファームウェアのファイルをコピーしてください。
②USBポートにファームウェアをコピーしたUSBメモリを挿入してください。
③ファームウェアをアップグレードするために『アップグレード』ボタンを入力してください。
入力すると小さいウィンドウが表示されます。
④『OK』アイコンをクリックしてください。確認のためのダイアログメッセージがポップアップされます。
⑤『OK』をクリックしてください。またはキャンセルするときは『キャンセル』をクリックしてください。
⑥アップグレードには数分かかる場合があります。アップグレードが終了するとDVRは自動的に再起動します。

◆ネットワークアップグレード



◆ネットワークアップグレードウィンドウで、「ネットワークアップグレード」を選択してください。
①サーバーのIPアドレスとファイル名が正しいかどうか確認してください。
　表示された情報が誤っている場合、テキスト入力ダイアログボックスによってサーバーのIPアドレスとファイル名を正しく入力しENTERキーを押してください。

※サーバーのIPアドレスとファイル名の情報は、お客様のサプライヤーを介して確認してください。

②「OK」を選択し、ENTERボタンを押してアップグレードを開始してください。
　アップグレードが完了するとシステムが自動的に再起動します。

5.2.7.7. DVRの電源を切る（システム電源OFF）

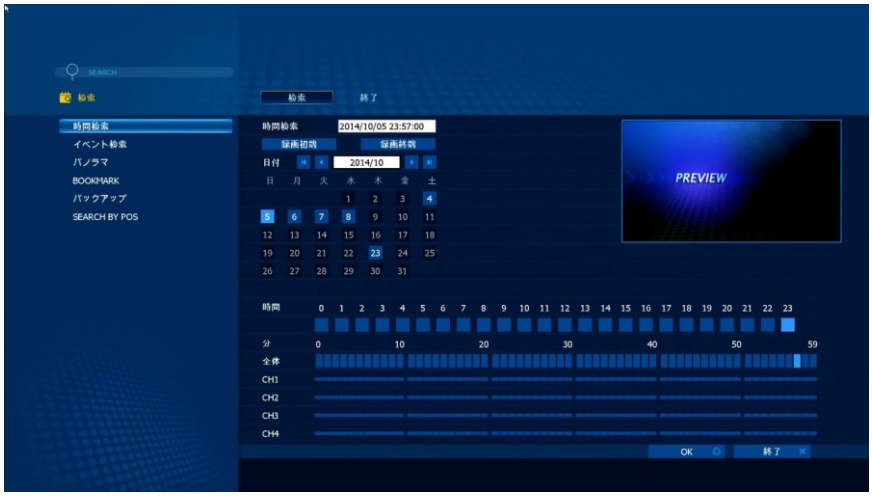
「DVRの電源を切る」を選択するとDVRはシャットダウンします。次に背面にある電源スイッチをOFFにしてください。再起動する場合は、電源スイッチをONにします。

5.3. 検索（Seach）

カレンダー/時間バーを使用した時間による検索およびイベントログを使用したイベント検索を使用することができます。

5.3.1. 時間検索

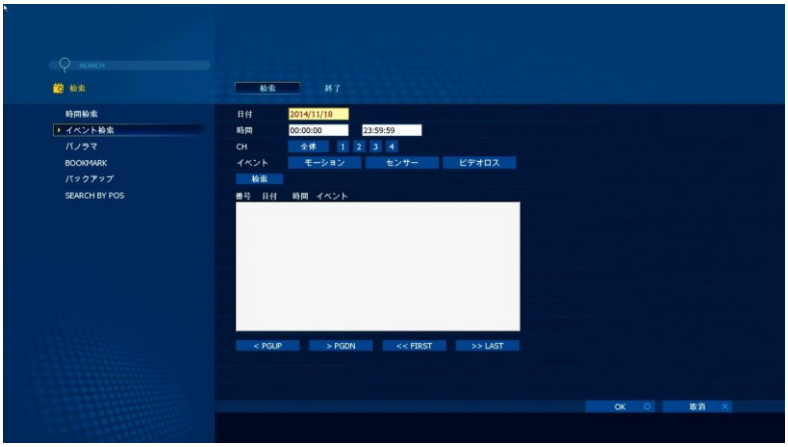
再生したい時間を入力して再生します。



◆操作手順
①カレンダーで日付を選択します。
②時間バーで「時刻」、と「分」を選択します。
②『OK』ボタンをクリックすると選択された時間で再生が開始します。
■最古（初端）のデータ：最古の録画データを検索します。
■最新（終端）のデータ：最新の録画データを検索します。
◆ **注**： 録画データの存在する日付は黄色で表示され、録画データの存在する時刻/分は明るい青で表示されます。

5.3.2. イベント検索

イベントが発生した時刻のリストから選択して再生します。



◆操作手順

①イベントログを取得するために日付と時間を選択してください。

②イベントログを取得するためにチャンネル（CH）を選択してください。

③イベントログを取得するためにイベントの種類を選択してください。

④検索ボタンを選択してください。イベントログのリストが書き込まれます。

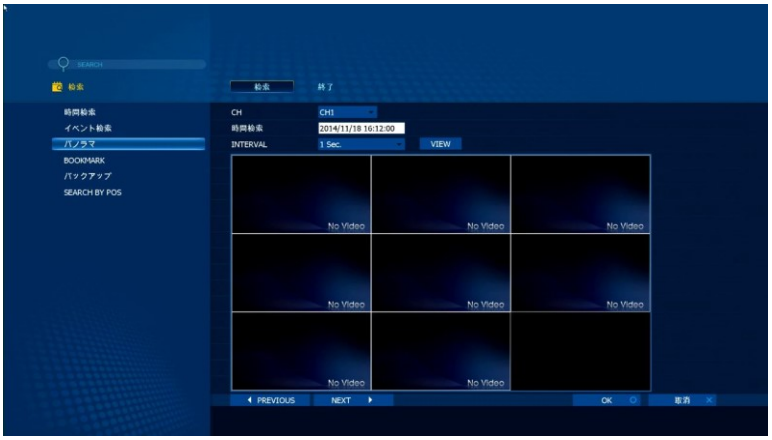
⑤<PGUP、 >PGDN：リストのページアップ/ページダウン

⑥<<FIRST、 LAST>>：リストの最初のページまたはリストの最後のページに移動します。

⑦リスト上のイベントログをクリックすると、DVRは、検索モードでイベントが発生した時刻に移動します。

5.3.3.パノラマ

指定した時刻の映像を一覧表示し選択して再生します。

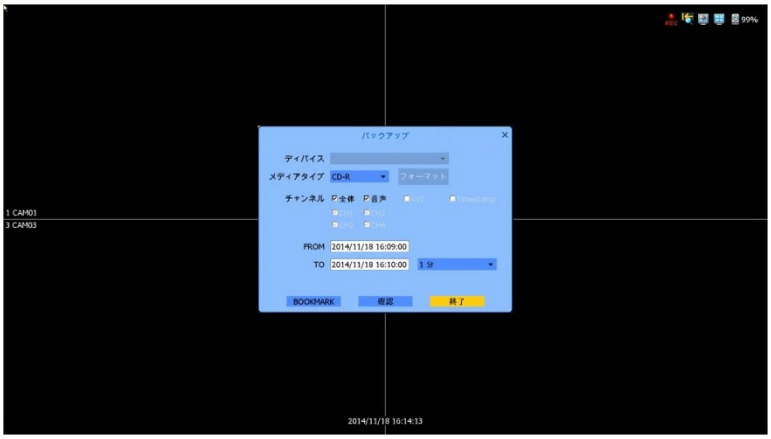


5.3.4. BOOKMARK

再生した時間の履歴を保存します。

5.3.5. バックアップ

後述します。



5.3.6. SEARCH BY POS

使用しません。

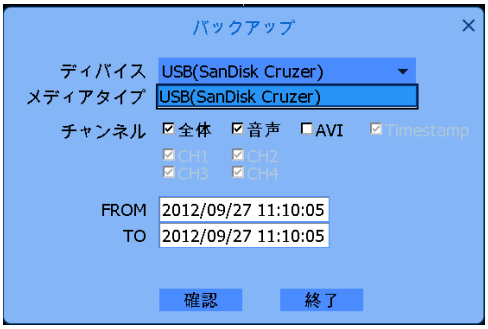
5.4. オーディオ

この機能を使用する前に、音声の入出力機器が正しく取り付けられていることを確認してください。

■音声出力は1CHのフルスクリーンモードでのみ動作します
■『TEST』の『ON/OFF』ボタンでオーディオのテストを行なうことができます。

5.5. バックアップ

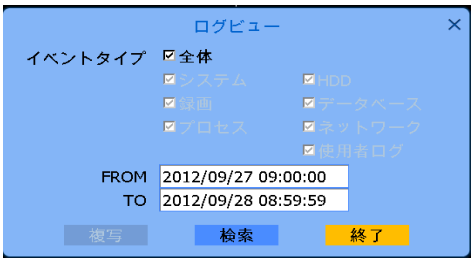
録画されたデータは、バックアップ機能を使用してUSBデバイスDVDデバイス※オプションに保存することができます。



◆操作手順
①バックアップ保存先のUSBデバイス（またはDVDデバイス）を接続します。
②次に、メインメニューからバックアップメニューを選択するか、リモコンのバックアップボタンを押してください。
③バックアップウィンドウが表示されたら、必要項目を選択します。
■**デバイス**：バックアップ用のデバイスを選択
■**チャンネル**：バックアップするチャンネルの選択
■**AVIに変換（To AVI）**：データはAVI形式でバックアップされます。″ AVIに変換″をチェックしない場合、データはPS形式でバックアップされます。そしてバックアップ閲覧プログラムが自動的にコピーされます。
■**タイムスタンプ**：AVIファイルにタイムスタンプを挿入します。
■**バックアップの開始（FROM）**：バックアップした い最初のデータ（時刻で指定）
■**バックアップの終了（TO）**：バックアップしたい最後のデータ（時刻で指定）
④すべて入力し終えたら、「確認」選択して実行します。
⑤ステータスが100%となって完了した後は、メニューを閉じデバイスを外してください。

5.6. ログビュー

システムログの状態を確認し、またはPC上でチェックするためにUSBメモリに保存することができます。



■**イベントの種類**：ログを確認したいイベントの種類を選択してください。
■**開始時刻（FROM）**：いつからのログを確認したいかを時刻を指定して入力してください。
■**終了時刻（TO）**：いつまでのログを確認したいかを時刻を指定して入力してください。
■**バックアップ**：USBメモリにログデータを保存します。
■**検索**：『検索』ボタンをクリックするとログのリストが表示されます。
■**イベントリスト**：選択されたイベントの種類のログが表示されます。

5.7. 録画

メインメニュー、リモコンまたはフロントパネル上で　RECボタンを選択してください。すべてのチャンネルが、以前の録画スケジュールの設定に関係なく録画されます。
この機能は、予期しない事件がオペレーターの誤りで録画されていないチャンネルで発生した場合の録画方法として、あるいは簡単な録画方法として使用できます。
もう一度RECボタンを押すと、DVRは以前の録画スケジュールの設定に戻ります。
例：　チャンネル2、3および4が、設定した録画スケジュールによって録画されている状態において、チャンネル1に予期しない事件が発生し録画する必要がある場合、リモコンまたはフロントキーのRECボタンを押せば、すべてのチャンネルが録画されます。

5.8. OSDをオフにする

『OSD　OFF』を選択すると、OSD（アイコンまたは時間）の表示/非表示を切り替えることができます。
詳細は『5.2.1.1.　OSD』を参照してください。OSDメニュー[セットアップ　→　ディスプレイ　→　OSD]

5.9 ログアウト

『LOG OUT』ボタン選択すると、DVRはログアウト状態になります。
ログアウト状態ではDVRを制御したりDVRの設定変更をすることはできません。再度ログインするためには、リモコンまたはフロントキーのいずれかのボタンを押すか、画面上でマウスのボタンをクリックしてください。
◆ 注：DVRがログアウト状態になると、すべてのチャンネルは、『5.2.7.4.使用者』の『モニター』設定に従ってブロックされる可能性があります。
（使用者 >> モニターがオンになっている場合、すべてのチャネルがログアウト状態で、黒い画面によってブロックされます。）

6. 録画時間の目安

HDD：1TB

画像サイズ	画質	120フレーム/秒	60フレーム/秒	32フレーム/秒	16フレーム/秒	8フレーム/秒
960×480	最高	4日20時間	9日16時間	14日10時間	24日 2時間	33日
	高	6日10時間	12日20時間	19日 6時間	32日 2時間	45日
	普通	9日14時間	19日 4時間	27日18時間	46日 6時間	62日
	低	18日18時間	37日12時間	55日20時間	86日16時間	115日
画像サイズ	画質	120フレーム/秒	60フレーム/秒	32フレーム/秒	16フレーム/秒	8フレーム/秒
720×480	最高	4日20時間	9日16時間	14日10時間	24日 2時間	33日
	高	6日10時間	12日20時間	19日 6時間	32日 2時間	45日
	普通	9日14時間	19日 4時間	27日18時間	46日 6時間	62日
	低	18日18時間	37日12時間	55日20時間	86日16時間	115日
画像サイズ	画質	120フレーム/秒	60フレーム/秒	32フレーム/秒	16フレーム/秒	8フレーム/秒
360×240	最高	21日 6時間	42日12時間	63日10時間	96日10時間	133日
	高	28日 6時間	56日11時間	84日16時間	128日14時間	165日
	普通	42日 4時間	84日 8時間	122日 2時間	192日22時間	217日
	低	82日12時間	165日	245日16時間	289日 8時間	347日

＊表記録画時間は、連続録画で上書き設定の場合の上書きまでの録画保存時間です
＊撮影対象や環境条件によって録画時間は大幅に変動します
（常に動きのある映像を録画する場合は録画保存時間が大幅に短縮されます）
＊上記フレーム数はカメラ毎の使用フレーム数の合計を意味します
尚、録画方式をモーション検知自動録画に設定する事で、上書きまでの録画保存時間が大幅に延長できます（モーション検知自動録画設定の場合は、表記時間が総録画時間となります）
＊音声を記録する場合は、表記録画時間から約20～50%短縮されます

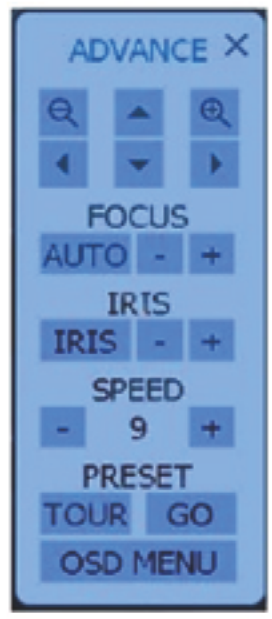
7. その他の機能

PTZ の設定を行うことができます。

7.1. PTZ

■リモコンの P/T ボタンを押すか、画面上の PTZ アイコン PTZ を選択すると、画面がフルスクリーンモードに変わり PTZ カメラを制御することができます。

5.4.1.2. PTZ の高度な設定 (PTZ　ADVANCE)



■フォーカス

+：フォーカスイン

-：フォーカスアウト

AUTO：オートフォーカスモード

■IRIS

+：アイリスオープン

-：アイリスクローズ

AUTO：オートアイリスモード

■スピード

+：制御速度が向上します

-：制御速度が低下します

■プリセット

特定のプリセットポジションに移動したい場合は、"GO" ボタンを選択してください。

プリセットポジションをスキャンしたい場合は、"SCAN" ボタンを選択してください。

◆　注：

- プリセットポジションはプリセットメニュー [メニュー → セットアップ → カメラ → プリセット] で設定することができます。

- スキャンリストはスキャンポイントメニュー [メニュー → セットアップ → カメラ → スキャンポイント] で設定することができます。

■OSD メニュー

カメラ自体が OSD 機能を持っている場合において OSD メニューのアイコンをクリックすると、カメラの OSD に従って OSD が表示されます。カメラが OSD をサポートしていない場合には、OSD メニューは動作しません。

8.トラブルシューティング

製品の故障が発生した場合、サービスを要求する前に、通常可能な解決策については、以下のリストを確認してください。

1. 製品の電源が入っていない。

電力が十分供給されているかどうかをチェックしてください。

2. 製品が、“Loading” または “Starting UI….”を続けて表示している場合

製品がHDDなしでブートしてはいないかチェックしてください。

製品にHDDがあっても“Loading” または “Starting UI….”の表示が続く場合は、緊急のアップグレードを試すことができます。

付属のCDで工場出荷時のデフォルトを参照してください

3. カメラの映像がモニターに表示されない。

製品の背面パネルのビデオ入力/出力の接続を確認してください。

カメラの状態やカメラの映像/電源ケーブルの接続を確認してください。

メニューでカメラの状態が『SHOW』かどうかを確認してください。

4. オーディオを聞くことができない

DVRの背面パネルにあるオーディオ入力/出力の接続を確認してください。

オーディオはフルスクリーンモードでのみ動作します。

5. リモコンまたはRECボタンで録画を停止することができない

メニューのRECのオプションの連続録画がオフになっていることをチェックしてください。

6. 以前の録画データを見つけることができません。

製品は自動的に上書き機能が動作します。上書き機能とは、HDDがいっぱいになったときに一番古い録画データを削除して上書きします。

7. 製品が外付けUSBデバイスと互換性がありません。

USBメモリースティックが保護（パスワード）機能にあるかどうかを確認してください。USBデバイスの保護機能が作動していると接続できません。

8. ネットワークに接続できません。

ネットワークポート、ID、パスワード等のネットワークのメニュー項目が、正しく設定されているかチェックし、インターネット回線が使用可能であるかどうかチェックしてください。インターネット回線をチェックするには、サービスプロバイダにお問い合わせください。

発生している問題が解決しない場合、または上記に記載されていない場合、サービスセンターまたはお近くの販売店にお問い合わせください。

保　証　書

株式会社NSKは、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。
本製品は人命にかかわる医療機器等の用途には使用しないでください。
高い信頼性が求められる用途に使用する場合はシステムの故障等の処置に万全を期してください。
その場合、その結果に対しての損害賠償責任について弊社は負担いたしません。
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保障期間内に故障・不具合が発生した場合、本保障規定に基づき無償修理・交換対応を行います。
ただし、次のような場合には保障期間内であっても有償修理となります。
（修理を依頼される場合の往復の送料はお客様のご負担となります）

1.本保証書がない場合

2.本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店の印字等の記入がない場合、
　または購入先や購入日が改ざんされている場合
注:太字及び※印の項目は必ず記入願います。

3.取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障および損傷である場合

4.ご購入後の輸送・移動・移設・落下による故障および損傷

5.火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびそのほかの天変地異など、
　外部に原因がある故障および損傷である場

6.他の機器との接続に起因する故障・損傷である場合

■初期不良交換、修理の手続き

●保証期間発生日より1ヵ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

●お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
（送料については弊社負担とさせていただきます）
ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。
また、当サービスをご利用いただくには、お買い上げ商品のすべての付属品が揃っていることが条件となります。

●弊社では、出張修理あるいは不具合原因の現地調査は行っておりません。

●弊社ではセンドバック（先に修理依頼品または不具合品をお送りいただき、弊社より修理完了品または初期不良交換品をご返却する）方式でのみ、対応を行っております。

●修理費用については代理販売店や購入店を通しての対応となります。

⚠ 注意

■電源は家庭用AC100V（50Hz/60Hz）のコンセント以外で使用しないでください。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となります。

■必ず付属のACアダプターを使用してください。

■ACアダプターのコードを傷つけたり、破損させたり加工したりしないでください。
重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、コードを傷め、火災・感電の原因となります。

■ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

■万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常があるときは使用しないでください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。

■動作環境範囲外で機器をご利用にならないでください。

■本器を改造あるいは、分解しないでください。火災・感電の原因となります。
また、内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。

■長期間使用されないときは、安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。

■落雷の恐れがある場合は、すみやかに本器を停止させ、コンセントからACアダプターを抜いてください。（停電時のブレーカーの入切りによる突入電流が原因で機器が故障する場合があります。

■本器を次のような場所での使用や保管はしないでください。
●直射日光のあたる場所　●特に高温低温になる場所　●温度変化の激しい場所
●振動の多い場所　●油煙、湯気、湿気があたる場所　●静電気が多く発生する場所
●強い磁気や電磁波が発生する装置（発電機やアンプ）が近くにある場所
●機器の仕様に合わない不安定な場所や、落下の危険がある場所

■本器を移動、移設させる場合は、ACアダプターをコンセントから抜き通電停止の状態になってから配線を抜いて下さい。

■金融機器、医療機器や人名に直接または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

⚠ 録画機についての注意

■湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■本器の通風孔をふさがないでください。
内部に熱がこもり、機器の不良や火災の原因となることがあります。
内蔵の記憶媒体は高温に弱い場合もあるため、適度な換気が必要です。

■3年に一度を目安に内部の清掃や稼働点検を販売店に依頼してください。
なお、内部清掃点検費用については、販売店にご相談ください。

■主に録画装置に使用している記録媒体としてのハードディスクは、永久的に使用可能な媒体ではありません（消耗品扱いとなります）。
次の留意点踏まえたうえでご使用ください。
●衝撃、振動をあたえないでください。　●電源の入切りを頻繁に行わないでください。
●推奨環境:周辺温度25℃以下　●稼働時間18,000時間を超えた場合は交換を推奨します。
●録画データや運用設定などは必要に応じてバックアップをおこなってください。

■本器の利用に際し、故障や誤動作、不具合などによってデータの消失などの障害が発生しても、弊社では保証しかねることをあらかじめご了承ください。

■ご注意

●本器の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行行為などの要因によって、通信、撮影、録画機会を逃したために生じた経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

●通信、録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

●本器のパッケージ等に記載されている機能、性能値は当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保障するものではありません。
また、バージョンアップ等により予告なく性能が上下することがあります。

●ハードウェア、ソフトウェア（ファームウェア）、外観に関しては将来予告なく変更されることがあります。

●ソフトウェア（ファームウェア）、更新ファイル公開を通じた修正や機能は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。
内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。

●一般的にインターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要となります。

●通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末の台数、機能、回線の使用率などについて設定を行っている場合がありますので、通信事業者と端末機器の導入に際して契約内容などをご確認ください。
このため弊社機器はすべての公衆網との接続を保障するものではありません。
通信事業者側の環境においては通信機能を有効にできない場合もありますのでご了承ください。

●公衆網に関連してDDNSサーバーのサービスを利用できる機器については、サーバーの臨時メンテナンスや、サーバー設備の障害、やむをえない事情によるサービス提供の停止、などの理由によりサービスを継続的に提供できない場合もありますので、あらかじめご了承願います。

●本器を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

●本器及び弊社製品は日本国内での利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。
また、ご利用の際は各地域の法令や政令、ガイドラインなどに従ってください。

■免責事項

●お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社では一切責任を負いません。

●お客様および第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。

●製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化・消失、また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失）につきましては、弊社では一切責任を負いません。

●製品の装着することによりほかの機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保障いたしません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in japan.

製品保証書

※保証期間		ご購入日　　年　　月　　日　より **1 年間**
製品型番		**NS-8040RⅡ/NS-8080RⅡ/NS-8160RⅡ**
※製造番号 シリアル NO.		
お客様 連絡先	お名前	
	ご住所	
ご購入 代理店様 所在地		

株式会社ＮＳＫ
〒461-0043 名古屋市東区大幸 1 丁目 10-15
受付：月～金曜日、9：00 ～ 12：00
　　13：00 ～ 18：00
※祝祭日、弊社指定休業日を除く
弊社 HP：http://www.n-sk.jp
お問合せ Mail：hp@nsk-sec.co.jp